

日本教育方法学会 第33回大会プログラム

《大会日程》

第 一 日 10 月 4 日 ・ 土	9：30	課 題 研 究 I			課 題 研 究 II		
	12：00	休 憩					
	13：00	自由研究 1	自由研究 2	自由研究 3	自由研究 4	自由研究 5	自由研究 6
	15：10						
	15：20	シ ン ポ ジ ウ ム					
	17：50						
	18：00	会 員 懇 親 会					
	20：00						

第 二 日 10 月 5 日 ・ 日	9：00	自由研究 7	自由研究 8	自由研究 9	自由研究 10	自由研究 11	自由研究 12
	11：30	総 会					
	12：20	休 憩					
	13：00	課 題 研 究 III			課 題 研 究 IV		
	15：30						
	15：40						
	16：30	ワ ー ク シ ョ ッ プ					

1997年10月 4 日(土)・10月 5 日(日)

於 横 浜 国 立 大 学

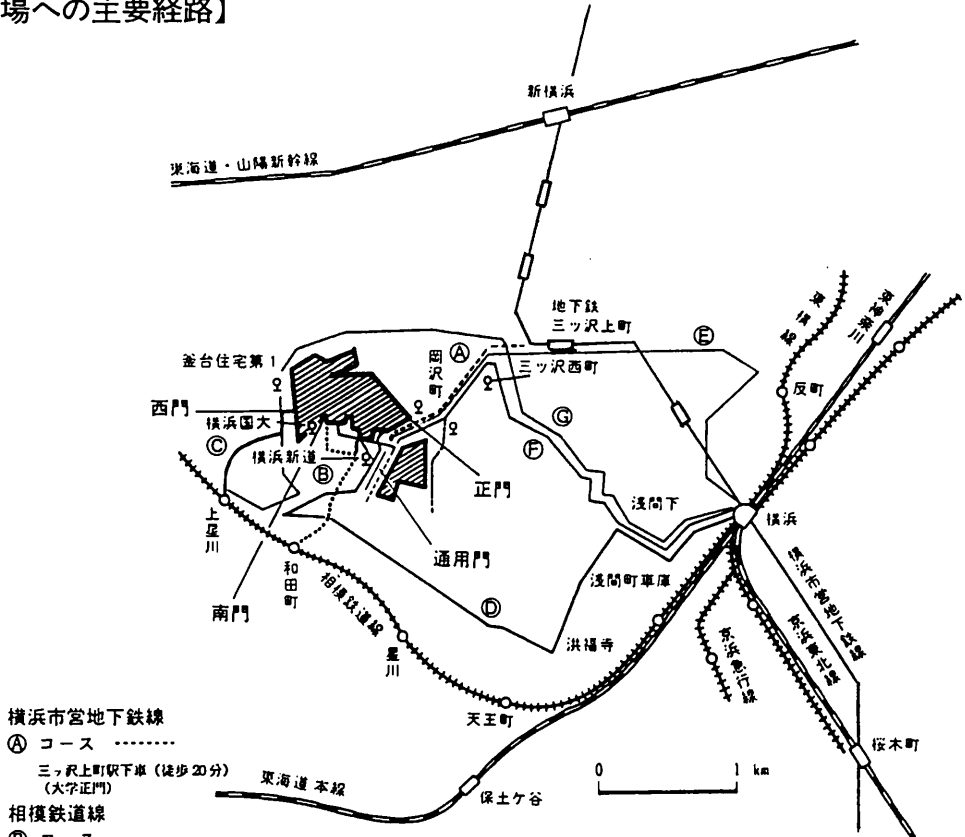
大会参加要領

1. 会場案内：会場は、横浜国立大学です。会場への経路につきましては、次頁をご参照ください。
2. 受付：大会第1日(10月4日・土)、第2日(10月5日・日)とも8時30分からです。
 - ・大会参加費（発表要旨集録代を含む）は、一般会員3,000円、学生会員2,000円です。
 - ・当日会員(臨時会員)もこれに準じて受け付けております。
 - ・本年度までの学会費（97年度～95年度：一般会員6,500円、学生会員4,000円、94年度以前：一般会員5,500円、学生会員4,000円）を未納の方は、あわせてお納めください。
 - ・本年度(97年度)の学会費を納入された方は、受付の際に『教育方法26』をお受け取りください。
 - ・会員懇親会の参加受付も行いますので、ふるってご参加ください。詳しくは、12頁の「インフォメーション」をごらんください。
 - ・受付にてネームプレートを用意しておりますので、お名前をお書きのうえ、おつけください。
3. 昼食：第1日(土)第2日(日)とも学内の食堂は営業しておりません。受付にて弁当券を販売する予定です。
なお、会場付近には飲食店はあまり多くはありません。
4. 研究発表：発表会場につきましては、4頁の「講義棟の案内図」をごらんください。
 - ・自由研究の発表時間は、以下の通りです。
個人研究：発表20分 質疑10分
共同研究：発表30分 質疑10分（但し、口頭発表者が1名の場合は、個人研究に準じます。）
 - ・本プログラムに記載されているコーディネーターおよび司会者、提案者の氏名は、五十音順です。
 - ・自由研究における共同研究発表者の氏名は、「発表申込用紙」に記入された順序によります。また、○印は口頭発表者です。
5. 会場校連絡先：〒240 横浜市保土ヶ谷区常磐台156 横浜国立大学

なお、大会に関するお問い合わせは、学会事務局(TEL.0824-24-6744)にお願いいたします。

<横浜国立大学案内図>

【会場への主要経路】



横浜市営地下鉄線

- ④ コース
三ツ沢上町駅下車 (徒歩20分)
(大学正門)

相模鉄道線

- ⑤ コース
和印町駅下車 (徒歩20分)
(大学南門・通川門)

- ⑥ コース
上星川駅下車 (徒歩20分)
(大学西門)

バス

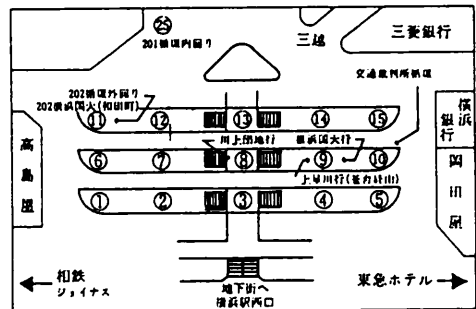
- ⑦ コース (市営バス) — (バス23分)
横浜駅西口
1. ⑦番乗口「新環外回り」横浜新道下車 (大学通川門)
又は関沢町下車 (大学正門)
2. ⑦番乗口「横浜国大」(和印町)行、横浜新道下車
(大学通川門) 又は横浜国大前下車 (大学正門)

- ⑧ コース (市営バス) — (バス18分)
横浜駅西口 ⑧番乗口 新環内回り
関沢町 (大学正門) 又は横浜新道下車 (大学通川門)

- ⑨ コース (相鉄バス) — (バス17分)
横浜駅西口
1. ⑨番乗口「横浜国大」行終点、横浜国大下車 (大学南門)
2. ⑨番乗口「交通裁判所前」関沢町下車 (大学正門)
3. ⑨番乗口「川上団地」行、関沢町下車 (大学正門)

- ⑩ コース (相鉄バス) — (バス15分)
横浜駅西口 ⑩番乗口
釜台住宅第3又は上星川行 (釜台住宅山)
釜台住宅第1下車 (大学西門)

横浜駅西口バスターミナル乗車案内



(注) バスは、交通渋滞により遅れる可能性があるので注意してください。

コースによって、下車するバス停が異なりますので、ご注意ください。

Eコースはしばしば渋滞します。

Gコースは下車後他のコースより歩きます。

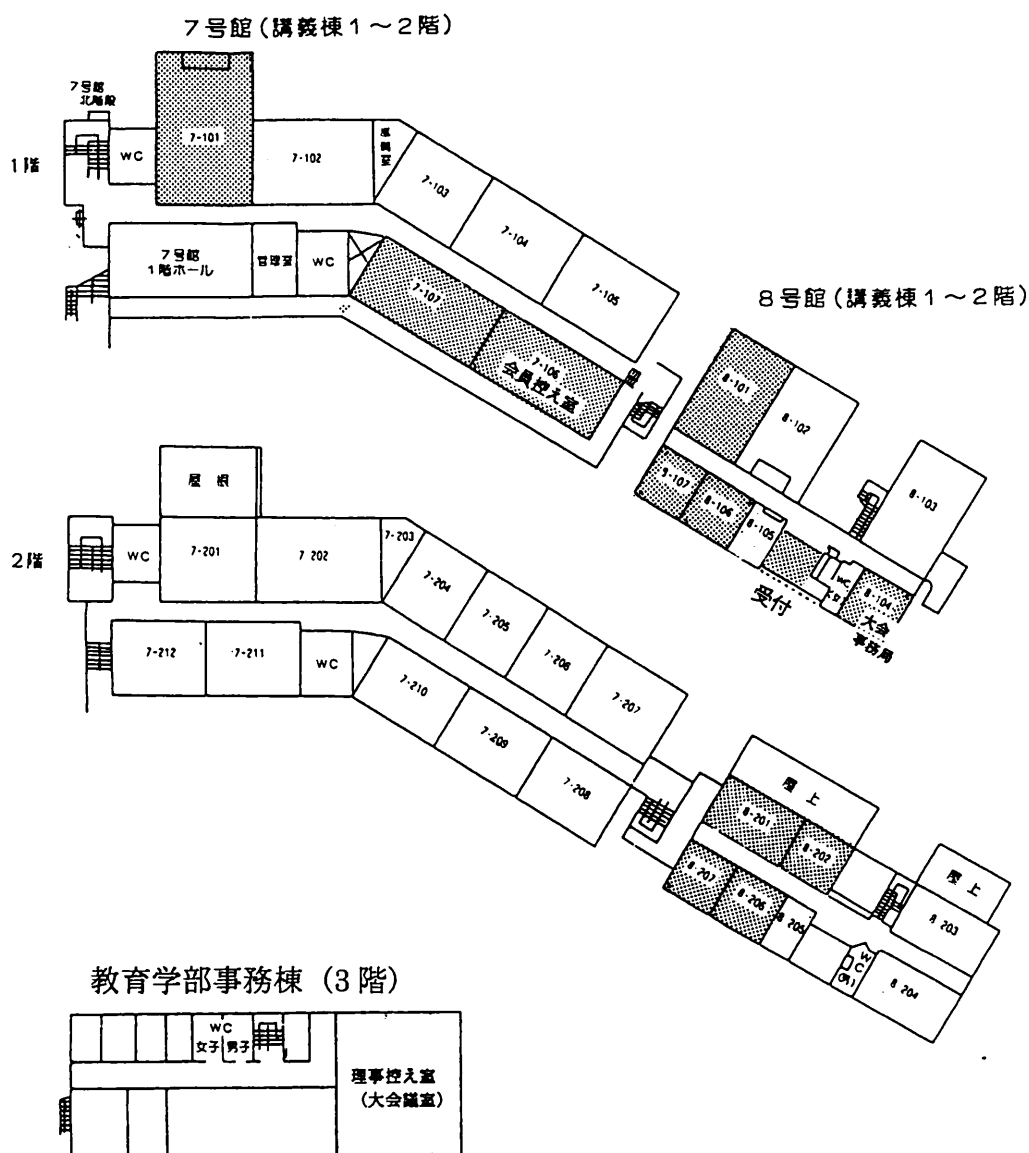
朝、8時～9時台の横浜駅西口発の一部バス路線の時刻予定を記載しておきます。(97年春)

Dコース(土) 8時07, 18, 27, 36, 52; 9時07, 16, 24, 41; (日) 8時18, 41; 9時03, 29, 54

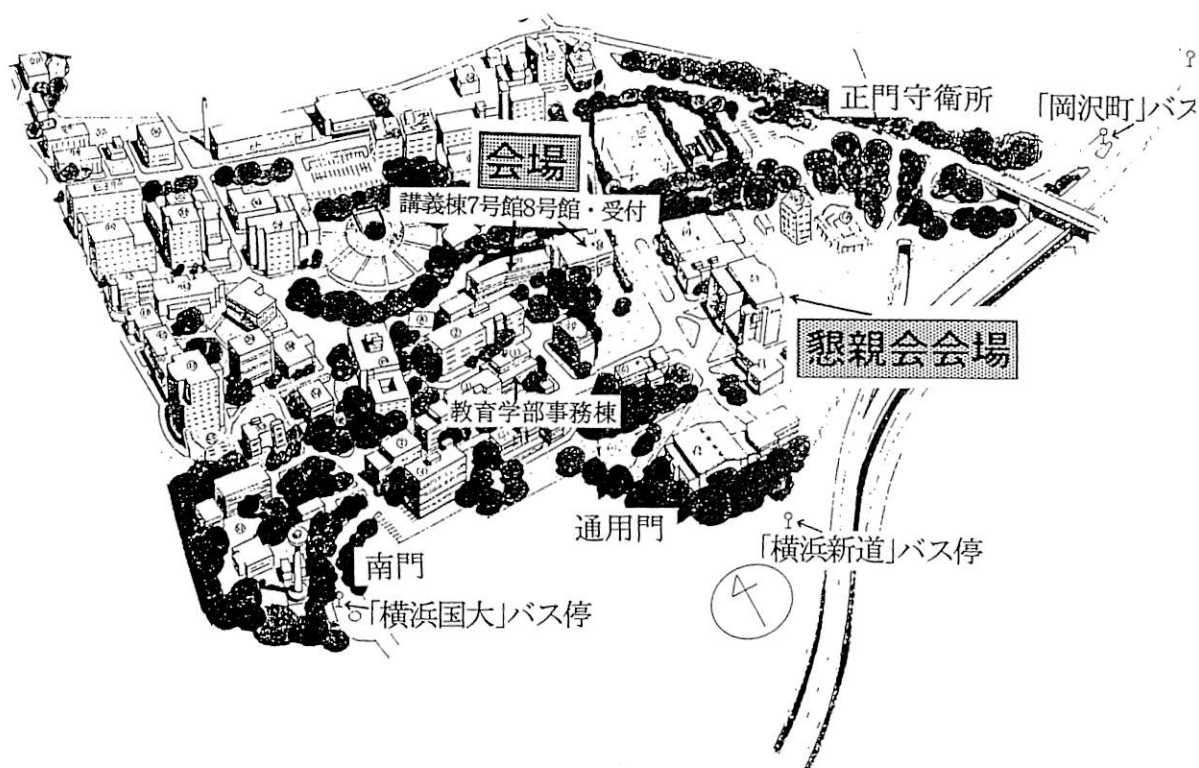
Fコース「横浜国大行」(土) 8時30; 9時31; (日) 8時00, 45; 9時無

「交通裁判所循環」(土) 8時02, 15, 25, 62, 38, 55; 9時10, 25, 40, 55; 8時10, 30, 50; 9時12, 33, 50

〈講義棟の案内図〉



キャンパスマップ



課題研究Ⅰ・Ⅲ：7-101室
 課題研究Ⅱ・Ⅳ：7-107室
 自由研究1：7：8-201室
 自由研究2：8：8-202室
 自由研究3：9：8-206室
 自由研究4：10：8-207室
 自由研究5：11：8-106室
 自由研究6：12：8-107室
 ワークショップ①：7-211室
 ワークショップ②：7-212室
 会員総会・シンポジウム：8-101室

*会員控室は、(7号館)7-106室です。
 理事控室は、事務棟3階大会議室です。
 お茶などを用意しております。

*大会事務局は、(8号館)8-104室です。

*会員懇親会は、大学会館3階「きやら亭」
 で開催いたします。

10月4日(土) 午前

課題研究 I

戦後授業研究の成果と課題－80年代を中心に－

(7-101室)

(9:30～12:00)

コーディネーター・司会者

河原 尚 武(鹿児島大学)

藤原 幸 男(琉球大学)

提案者

齋 藤 孝(明治大学) からだ概念と鳥山敏子実践の検討 ……21

佐久間 亜 紀(東京大学大学院)

田 中 耕 治(京都大学) 学力形成・評価論の立場からの80年代授業研究の検討 …22

船 越 勝(和歌山大学) 「学習集団」から「学習の共同化」へ ……23

(コーディネーターによる設定趣旨)

本課題研究は第30回大会からの継続で、今年で4回目を迎える。時期は前回の70～80年代に引き続き80年代を中心とする。80年代の授業研究は多種多様であったが、全体として学習者への関心を強め、学習者の視点からの授業の見直し、教育内容・方法の創造、学習者を中心にした授業の創造という方向性をもっていた。授業研究において身体論・学習論が言われ出したこともこの時期の特徴の一つである。90年代後半の今日、学習論が盛んで、授業枠組み（パラダイム）の転換が叫ばれるなかで、その前段階としての80年代授業研究を検討し、90年代授業研究との関連を明らかにすることは、重要な意味を持つ。今回は、①学力形成・評価論の立場からの80年代授業研究の検討、②鳥山敏子の授業実践の身体論的検討、③学習集団論の立場からの80年代授業づくりの検討、の3つの提案をもとに80年代授業研究の成果と課題について多角的に明らかにしたい。

課題研究Ⅱ

「保育」のあり方を問い直す
ーケア、保護、福祉等との関連でー

(7-107室)

(9:30~12:00)

コーディネーター・司会者

小川 博久(東京学芸大学)

穴戸 健夫(愛知県立大学名誉教授)

提案者

西岡 けいこ(香川大学) 「支援」概念の導入に伴う小学校教育の変化と
いう視点から「保育」のあり方を問う ……24

師岡 章(國學院大學幼児教育専門学校) 「保育」のあり方を問い直す ……25
ー保育者のかかわりを通して考えるー

渡辺 保博(三重大学) 延長・夜間保育を通して「保育」のあり方を
問い直す ……26
ー「保育」問題のとらえ方と生活計画としての
保育計画の模索から

(コーディネーターによる設定趣旨)

近年、核家族や女性の社会進出が進むなかで家族のあり方が変化している。また少子化現象の進行することで、子育て状況も変化しつつある。共働き家庭の増加は「健やかに子どもを育てる環境づくり」への関心が高まり、特に女性が働くことと子育てを両立させるための保育施設の整備が不可欠であることへの認識が一般化しつつある。

しかし一方では、家庭生活の消費化、省力化の進行のなかで、子育ての瑣雑さから子育て不安に陥り子育てから逃避しようとする専業主婦も少なくない。こうした動向を背景に育児、託児を営利とする企業の進出もみられ、育児を家庭外の託児企業に依頼するという子育ての外注化、消費行為化もみられる。女性の自立という面からも女性が社会に進出し、それを保障する保育施設が整備されることは望ましいが、子育てが全面的に営利を目的とした保育、託児産業に依存することは幼児の発達からみて望ましいことであろうか。こうした状況のなかで改めて「保育」のあり方を問いたいのである。

①現代家族において「保育」とはなにか、それは子どもを「保護」し「ケア」することとどう通底し、あるいは相違するか(老人ケアなどとの関連で)、②「保育」概念は人間の「福祉」といった概念とどうかかわり、「教育」という概念とはどうかかわるか、③「保育」で一人ひとりの発達を保障しようとするとき「養護」におけるそれとの関係はどうか(統合保育などを視野に入れて)、④「保育」概念に内包されている援助という意味は小学校における「支援」概念とどういう関係にあると考えるべきか、そこで問われる「教育」の意味はなにか、等。

10月4日(土) 午後

自由研究 1

(8-201室)

司会者 岩 垣 攝 (千 葉 大 学)
庄 司 他人男 (福 島 大 学)

- 13:00 ① ペスタロッチー教育方法思想に関する研究
ーシュタンツ教育実践における「居間」と「メトーデ」の関連ー …27
福 田 敦 志 (広 島 大 学 大 学 院)
- 13:30 ② フレーベルの「恩物」(Gabe)に関する人間学的考察ー色彩をめぐるー …28
船 越 美 穂 (福 岡 教 育 大 学)
- 14:00 ③ デューイ・スクール (1896-1904年) のカリキュラム ……29
中 野 真 志 (大 阪 市 立 大 学 大 学 院)
- 14:30 ④ 自由ヴァルドルフ学校の環境教育 ……30
土 屋 文 明 (小 樽 商 科 大 学)

自由研究 2

(8-202室)

司会者 江 川 玖 成 (東 京 学 芸 大 学)
高 田 清 (福 岡 教 育 大 学)

- 13:00 ① 学級づくりにおける「ケアリング」の位置と課題 ……31
山 岸 知 幸 (広 島 大 学 大 学 院)
- 13:30 ② 高等学校文化祭指導に関する一考察ー三項理論による活動過程解釈の試みー …32
木 内 隆 生 (兵 庫 教 育 大 学 連 合 大 学 院)
- 14:00 ③ 班づくりの理論的再検討ー公共性の転換に着目してー ……33
米 井 公 介 (広 島 大 学 大 学 院)

10月4日(土) 午後

自由研究 3

(8-206室)

司会者 鈴木 秀一 (札幌学院大学)
山下 政俊 (島根大学)

- 13:00 ① 教育相談的視点による授業研究(1)ー小学校における参加観察を通してー …34
○蒲 地 啓 子 (横浜市立太田小学校)
藤 岡 完 治 (横浜国立大学)
- 13:30 ② 教育相談的視点による授業研究(2)ー中学校における参加観察を通してー …35
○東 桂 子 (藤沢市立村岡中学校)
藤 岡 完 治 (横浜国立大学)
- 14:00 ③ 「島小の授業」を読むー船戸学級 4年算数の授業を例にー ……36
北 川 金 秀 (兵庫県立加古川看護専門学校)
- 14:30 ④ 斎藤喜博の横口授業「山の子ども」の分析(6)ー出口論争が提起したものー …37
○井 上 光 洋 (大阪大学)
西 森 章 子 (大阪大学)

自由研究 4

(8-207室)

司会者 杉 山 明 男 (吉備国際大学)
三 上 勝 夫 (北海道教育大学)

- 13:00 ① 授業研究における分節わけの意味と可能性
ー分節の内部構造および相互関連から子どもの思考をとらえるー ……38
石 原 正 敬 (名古屋大学大学院)
- 13:30 ② 授業研究における「教育的タクト」の位置と役割(2) ……39
尾 島 卓 (上越教育大学)
- 14:00 ③ 授業研究の方法論的課題(2)
ー文学教材の読みの授業で子どもたちは思考をしているかー ……40
宮 坂 義 彦 (前・聖路加看護大学)
- 14:30 ④ 授業批評力の形成における「風景」の重ね合わせ
ー授業者・学習者としての二重意識の技化ー ……41
○齋 藤 孝 (明治大学)
○佐久間 亜 紀 (東京大学大学院
埼玉大学非常勤)

自由研究 5

(8-106室)

司会者 大槻和夫(広島大学)
三石初雄(福島大学)

- 13:00 ① 教材開発の手法—国語教師・大村はまの教材観をもとに—42
○西森章子(大阪大学)
井上光洋(大阪大学)
- 13:30 ② 「月の運行」学習における星座盤(表)導入の効果
—三球儀モデル盤との比較検討—43
斎藤裕(新潟県立新潟女子短期大学)
- 14:00 ③ 授業方法の違いによる能力開発差の一考察
—インフォメーション・スキルを例として：カナダでの調査から— ...44
原勝子(千葉大学・非常勤)
- 14:30 ④ 比較授業研究—その実施と授業分析 I—45
○中村亨(西南女学院大学)
○杉谷修一(西南女学院大学)
李霜華(九州大学)

自由研究 6

(8-107室)

司会者 阿部好策(新潟大学)
谷川彰英(筑波大学)

- 13:00 ① G.H. ミードの相互作用に関する教育方法学的考察46
塩路晶子(大阪市立大学大学院)
- 13:30 ② 痕跡をめぐる—〈教育内容〉概念の記号論的検討より—47
米村まろか(名古屋大学大学院研究生)
- 14:00 ③ ギーゼッケの『教育の終焉』に見る世代関係としての「教育的関係」の変容 ...48
助川晃洋(宮崎大学)
- 14:30 ④ ノルトライン・ヴェストファーレン邦における政治教育の1987年度版学習指導
要領の構造49
的場正美(名古屋大学)

10月4日(土) 午後

シンポジウム

これからの学校の役割と教育課程・方法の改革

(8-101室)

(15:20~17:50)

司会者

高橋 勝(横浜国立大学)

水越 敏行(関西大学)

提案者

峰 勉(神奈川県立教育センター) これからの学校のあり方と役割50

宮原 修(お茶の水女子大学) これからの日本の学校の役割と教育課程・方法の改革51

横川 和夫(元・共同通信記者) 競走と点数評価のない教育を52

吉田 貞介(金沢大学) 新しい学校環境の創造と学校システムの開発53

(設定趣旨)

21世紀を目前にして、学校はいま大きな転換期にさしかかっている。世界的規模における社会変動のうねりが学校という小船に押し寄せてきているからである。

それは、国際的に見れば、東西の冷戦構造の終結と多極化された新しい国際秩序の台頭であり、国内では、後発型近代化時代の終焉と高度に情報化した成熟社会の出現などに象徴される。このように目まぐるしく変動する社会状況のなかで、私たちは、21世紀の学校像をどのようにデザインすればよいのか。それは、従来の学校像とどこが異なるのか。学校に期待される新しい役割とは何か。それは、教育課程や授業のあり方にどのような改革を迫るものなのか。

これからの学校をめぐるこうした問題について、4人の提案者に、それぞれの立場からの率直な提言をお願いし、討議の過程で、21世紀の学校像を浮かび上がらせることを、本シンポジウムの課題としたい。

インフォメーション

●会員懇親会

日 時 : 第1日(10月4日・土) 18:00から

会 場 : 大学会館3階「きやら亭」

会 費 : 3,000～4,000円(予定)

会員相互の親睦をはかるため、懇親会を開きます。多数の会員のみなさまのご参加をお願いいたします。

●会員総会

日 時 : 第2日(10月5日・日) 11:30～12:20

会 場 : 8-101室

主な議題 : 会務報告

1996年度決算

1998年度予算案

次期大会校

昼食・休憩前ですが、ぜひとも多数ご参集ください。

●書籍販売について

学会事務局では、受付にて学会機関誌「教育方法」、研究紀要「教育方法学研究」の最新刊およびバックナンバーを、会員割引価格で販売いたします。この機会にぜひお求めください。

また、本大会の「発表要旨集録」を別途希望される方には、1冊800円にて頒布いたします。

なお、「教育方法」最新刊(第26巻)は、本年度の学会費を納入された方には、受付の際にお渡しいたします。(大会以降に学会費を納入された方には、随時お手元に郵送させていただきます。)

10月5日(日) 午前

自由研究 7

(8-201室)

司会者 子 安 潤 (愛 知 教 育 大 学)
笹 本 正 樹 (高 松 短 期 大 学)

- 9:00 ① 授業実践における「異化」に関する一考察55
宮 原 順 寛 (広 島 大 学 大 学 院)
- 9:30 ② 音楽科教育における「異化」作用の生成56
岡 本 信 一 (広 島 大 学 研 究 生)
- 10:00 ③ 生活経験学習における子どもの認識をどうとらえるかII
ー生活を表現することのメタ認知的意義ー57
内 山 隆 (東京学芸大学教育学部
附属世田谷小学校)
- 10:30 ④ 批判的思考教授における思考技能の統合
ーR. ポールの理論を中心にー58
樋 口 直 宏 (立 正 大 学)

自由研究 8

(8-202室)

司会者 天 野 正 輝 (京 都 大 学)
長 尾 彰 夫 (大 阪 教 育 大 学)

- 9:00 ① 1900年代における普通教育論としての市川源三の家事教育の構想
ー『補習 家事修身書』の歴史的意義の解明を中心としてー59
飯 田 範 子 (筑 波 大 学 大 学 院)
- 9:30 ② 社会史教授における生活者の個性性と能動性の認識
ーアメリカ中等歴史カリキュラム "Ordinary Americans: U.S.History
Through the Eyes of Everyday People" の場合ー60
梅 津 正 美 (鳴 門 教 育 大 学)
- 10:00 ③ 消費者教育の問題性と可能性
ー意思決定のプロセスと自己責任ー61
鶴 田 敦 子 (群 馬 大 学)
- 10:30 ④ 「男女共同参画社会」の形成と共学家庭科でのジェンダー視点による学習開発62
田 結 庄 順 子 (広 島 大 学)
- 11:00 ⑤ 阪神・淡路大震災と学校カリキュラムの課題63
佐 藤 年 明 (三 重 大 学)

自由研究9

(8-206室)

司会者 橋川喜美代(鳴門教育大学)
平野智美(上智大学)

- 9:00 ① M. プーバーにおける教師生徒関係—子どもを捉える視座の研究— ……64
角野幸代(兵庫教育大学大学院)
- 9:30 ② 保育者の言語活動を中心とした働きかけ
—幼児の積極的にかかわる力の育成を視点にして— ……65
安保里香(秋田大学大学院)
- 10:00 ③ 保育カリキュラムにおける「生活」の視座
—「かかわり合う」応答関係による「居場所」の構成— ……66
深澤悦子(信貴山看護専門学校・非常勤)
- 10:30 ④ 自由保育と一斉保育に関する教育方法論的検討 ……67
腰山豊(聖園学園短期大学)

自由研究10

(8-207室)

司会者 日比裕(名古屋大学)
吉崎静夫(日本女子大学)

- 9:00 ① 小学校教師の学年観について ……68
宮崎やよい(九州大学大学院)
- 9:30 ② 文科系学生を対象としたネットワーク入門教育 ……69
○山本孝一(浜松短期大学)
佐野真一郎(豊橋創造大学短期大学部)
- 10:00 ③ 大学授業開発の新しい枠組の可能性の検討
—参画パラダイムによる教育方法学教育コースワークの実践から— ……70
林義樹(武蔵大学)
- 10:30 ④ 学校教育実践と教師教育の連携への大学授業改善
—ティームティーチングの授業における学生ボランティアの活用事例を
中心に— ……71
○新井孝喜(茨城大学)
戸塚茂則(茨城大学)

自由研究11

(8-106室)

司会者 小田切 正 (北海道教育大学名誉教授)
中 田 基 昭 (東 京 大 学)

- 9:00 ① ポートフォリオ評価法—実践的評価法の開発とその実際—72
佐 藤 真 (秋田大学教育学部附属小学校)
- 9:30 ② 臨床心理療法を用いた教師研修
—子どもとの関係改善を促進する臨床的教師研修—73
小 島 勇 (東京学芸大学大学院
埼玉大学・非常勤)
- 10:00 ③ 教育相談的視点による授業研究(3)
—病弱児との関わりの内観分析を通して—74
○高 橋 早 苗 (大和市立大和中学校)
藤 岡 完 治 (横 浜 国 立 大 学)
- 10:30 ④ 教育相談的視点による授業研究(4)—授業リフレクションの分析を通して— ...75
○菅 沼 伸 一 (横浜市立岸谷小学校)
藤 岡 完 治 (横 浜 国 立 大 学)
- 11:00 ⑤ 学習者の授業モデル形成に関する実証的研究76
澤 本 和 子 (山 梨 大 学)

自由研究12

(8-107室)

司会者 柴 田 義 松 (成 蹊 大 学)
山 田 昇 (奈 良 女 子 大 学)

- 9:00 ① カリキュラム開発の視座としての「統合」に関する教授学的研究77
高 橋 英 児 (広 島 大 学 大 学 院)
- 9:30 ② 「総合」の視点の同時代化を
—ジャガイモを素材とした全国的ネットワーク学習構想を例として— ...78
若 菜 博 (北海道教育大学岩見沢校)
- 10:00 ③ 総合学習カリキュラムの構成視点としての「栽培」に関する研究(その1)
—小学校における「栽培教育」の位置づけと類型化—79
○住 野 好 久 (香 川 大 学)
松 本 康 (香 川 大 学)
柳 智 博 (香 川 大 学)
- 10:30 ④ 木下竹次の授業論(2)—学習における共同性に着目して—80
○永 田 智 子 (兵 庫 教 育 大 学)
西 森 章 子 (大 阪 大 学)
井 上 光 洋 (大 阪 大 学)
- 11:00 ⑤ 木下竹次「奈良の学習法」「奈良の合科学習」についての「指導・支援」 ...81
長 岡 文 雄 (元・兵庫教育大学)

10月5日(日) 午後

課題研究Ⅲ

情報ネットワークと教育方法

(7-101室)

(13:00～15:30)

コーディネーター・司会者

大島 聡(横浜国立大学)

渡邊 光雄(筑波大学)

提案者

大谷 尚(名古屋大学) 情報ネットワークの教育利用と学校文化

—インターネットが学校にもたらすもの— …82

小笠原 喜康(日本大学) メディアはメッセージを運ばない ……83

中川 一史(横浜市教育委員会) 学びの素材としてのネットワーク ……84

松本 浩次郎(神奈川県立大師高等学校) 高校教育改革と電子的情報ネットワーク ……85

(コーディネーターによる設定趣旨)

現在の電子メディアによる情報ネットワークの発達には目を見張るものがある。教育分野においても、予備校で衛星通信を利用した授業が行われたり、学校にインターネットを利用できるパソコンが設置されたりといった、目に見える動きが始まっている。しかし、電子的情報ネットワークの発達が与える変化は、教授や学習の新しい形態を付け加えるだけではない。教育が基本的にコミュニケーションであり、学校が1つの情報ネットワークであるとするならば、電子メディアによる情報ネットワークの発達は、教育や学校のこれまでのあり方を根本的に揺さぶる力を持っていると思われる。本セッションでは、日常的に電子的情報ネットワークが利用される社会環境における、学ぶことと教えることの意味をあらためて問い直し、現在および将来における教育方法の基盤を理論と実践の両面から検討していく。

課題研究Ⅳ

「学級・ホームルーム」を問い直す

(7-107室)

(13:00～15:30)

コーディネーター・司会者

折出 健二(愛知教育大学)

藤田 昌士(立教大学)

提案者

奥平 康照(和光大学) 学級の枠を組み直す86

杉浦 正幸(日本学術振興会特別研究員) 学校教育における culture の意味
—新たな学級構成原理の追求のために—87

花山 尚人(神奈川県公立中学) 子どもたちの思いや願いが実現できる学級・学校
づくり88

(コーディネーターによる設定趣旨)

この課題研究は、「『学級』システムを問い直す」(第32回)、「『個性化』重視の状況における集団とは何か」(第30回)での研究討議に連なるものである。今回は、「学校スリム化」を含む今日の学校改革論議を射程におきながら、学級・ホームルームの新しい位置づけを探究する討議となれば、と考えている。

どのような改革・改編をとるにせよ、学級・ホームルームに関しては次の2つの課題が改めて問い直されるべきである。①いじめ・不登校など子どもたちの人間関係が複雑な問題を抱えているいま、個々人の「居場所」や「安心できる関係」を創っていくには何が必要か。また、この点から「集団づくり」をどう捉え直していくか。②子どもの権利条約が発効(1994.5)して丸3年、権利としての「参加」と「自治」を実現していく拠点としての役割をどのように担いうるか。

こうした課題をめぐって、理論的・実践的に問題を提起していただき、これを受けて教育実践に食い入るような議論が展開されることを期待したい。

10月5日(日) 午後

ワークショップ①

子どもの関係改善を促進する教師研修ワークショップ

(7-211室)

(15:40~16:30)

司会者 小島 勇(東京学芸大学大学院 埼玉大学・非常勤)
大本 良子(セレンティ・カウンセリングルーム代表)

(司会者による設定趣旨)

教育現場で多発している不幸な関係性の問題を癒す臨床的教師研修の方法を提案します。生徒との関係改善はもちろん、教師間の関係改善、生徒理解をはじめ、指導の検証、指導の改善など、あらゆる課題に対応できるものです。

この方法は、誰もが学んで習得できるものであり、それを『愛と癒しの教育プログラム』と名づけ、研究しているものです。臨床心理療法を適用した教育プログラムをより具体化するため、学芸大博士課程で研究しながら、一方、カウンセリングルームで臨床事例からも学んでおります。

当日は、その癒しのメカニズムも説明しながら、一つ一つの課題が具体的に解決され、克服されてゆくプロセスを提示いたします。

ワークショップ②

「卵は立つ」実習の教材化について
ー感じること・かかわることー

(7-212室)

(15:40~16:30)

司会者 高橋 和子(横浜国立大学)

(司会者による設定趣旨)

いま教育界では「個性の尊重」「ゆとりの中での生きる力」が強調されている。教育とは常に個々人の可能性を引き出すものであるから、あえて「個性の尊重」を叫ばなくともいいようなものであるが、この背景には教育の画一化への反省があろう。

それを受けて、「個に応じた」「多様な選択」ができる学習内容やシステムが開発されている。今回、私は共通の教材でも、個々人によって体験する内容が多岐に渡る教材がどのような教科で可能か、また、個性を育てるとはどういうことを考える材料になればと願っている。実習は「卵は立つ？」で、私の授業経験では、感覚の覚醒や集中力、感動、かかわりなど、多くの気づきが体験できる。卵とのかかわりを通して、自他(ヒト・モノ・コト)の中に起こっていることに気づく経験は、今のところ、道徳や表現教育に位置づけることができると考えている。

日本教育方法学会刊行書籍

教育方法 1.	教科内容・指導方法の現代化	1 9 6 6	(品切れ)
教育方法 2.	授業改造の基本問題	1 9 6 8	(品切れ)
教育方法 3.	授業の組織化と教師の指導性	1 9 6 9	(品切れ)
教育方法 4.	学力差と教授・学習過程	1 9 7 0	(品切れ)
教育方法 5.	教育方法学 '70年代の課題	1 9 7 2	(品切れ)
教育方法 6.	授業研究の課題と方法	1 9 7 4	(品切れ)
教育方法 7.	現代学校教育論の再検討	1 9 7 5	(品切れ)
教育方法 8.	教育課程再編の原則	1 9 7 6	(品切れ)
教育方法 9.	現代訓育理論の探究	1 9 7 7	(2,163円)
教育方法10.	学力の構造と教育評価のあり方	1 9 7 9	(品切れ)
教育方法11.	現代授業理論の争点と教授学	1 9 8 0	(2,472円)
教育方法12.	学級教授論と総合学習の探究	1 9 8 2	(2,678円)
教育方法13.	いま授業で何が問われているか	1 9 8 4	(2,472円)
教育方法14.	子どもの人間的自立と授業実践	1 9 8 5	(2,884円)
教育方法15.	実践にとって教授学とは何か	1 9 8 6	(2,266円)
教育方法16.	個性の開発と教師の力量	1 9 8 7	(2,472円)
教育方法17.	教育方法を問い直す	1 9 8 8	(2,987円)
教育方法18.	新教育課程と人間的感性の育成	1 9 8 9	(2,000円)
教育方法19.	知育・徳育の構想と生活科の指導	1 9 9 0	(1,760円)
教育方法20.	学校文化の創造と教育技術の課題	1 9 9 1	(1,760円)
教育方法21.	自己学習能力の育成と授業の創造	1 9 9 2	(1,760円)
教育方法22.	いま、授業成立の原則を問う	1 9 9 3	(1,860円)
教育方法23.	新しい学力観と教育実践	1 9 9 4	(1,860円)
教育方法24.	戦後教育方法研究を問い直す	1 9 9 5	(2,890円)
教育方法25.	戦後50年、いま学校を問い直す	1 9 9 6	(1,960円)

最新刊・教育方法26 『新しい学校像と教育改革』

〈内 容〉

- I. 「いじめ」問題に教育方法学はどう取り組むのか
- II. 子どもの文化状況と教育実践の課題
- III. 新しい学校像と教育課程改革の課題

『教育方法』は、大会当日、会場にて会員割引価格で販売いたします。

この機会に多数の方々のご購入をお願いいたします。

第18巻からは「会員配布制」となりましたので、学会費を納入された方には、明治図書より直接お手元まで郵送いたします。

〒170

東京都豊島区南大塚2-39-5

明治図書

TEL.(編)03-3946-3151・3152

TEL.(営)0482-56-1175